



イチジク [無花果・映日果]

落葉／中高木／木本植物／外来種・栽培品種



科名 クワ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い、雌の樹のみ

人との係わりは古く、古代エジプト壁画や旧約聖書にも登場する。漢字で「無花果」。夏果と秋果があり、花囊（かのう）内でイチジクコバチにより受粉するが、日本のイチジクは雌株だけで結実する。栽培は容易で、植付翌年から収穫できる。東北地方南部以南で生育できる。



品種：蓬萊柿

実

Memo

イチジクの花は、果実の内部に咲くため外観上は見えない。この中で花が咲き結実する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花 期	(花囊 (かのう) を形成する)											
	果 実						(夏果)						(秋果)
	紅 葉												
	施 肥	(痩せ地でなければ不要)											
剪 定													

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強		○	弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
					○	○	

ポイント

水はけよい肥沃な土壌を好む。葉が大きく風を受けやすいので、植付時は支柱を立てて固定するとよい。収穫目的の場合、寒肥に完熟堆肥を施す。熟した果実を狙いカラスが来るので注意する。

剪 定

頂芽（枝先の芽）だけが伸びる性質があるため、前年伸びた枝を基部から3芽ほど残して外芽の上で切り戻す。外芽は木の中心より外側を向く芽、剪定後この芽が伸びる。

病虫害

テッポウムシ（カミキリムシの幼虫）が幹内に侵入することがある。木屑を発見したら早めに対処する。剪定の切り口や幼虫の侵入口に傷口癒合剤を塗布する。